【乳がん検診精度管理5指標】（平成28年度）

	市町																																検診機関	
単位 %	金沢市		七尾市		小松市		輪島市		珠洲市		加賀市		羽咋市		かほく市		白山市		能美市		野々市市		川北町		津幡町		内灘町		志賀町		宝達志水町		中能登町		穴水町		能登町		成人病予防センター	予防医学協会
検診実施方法	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	集団
対象者数（人）	95,120		11,733		22,219		5,755		3,166		15,177		4,747		7,087		24,012		10,073		9,781		1,225		8,029		5,797		4,549		2,990		3,851		1,816		3,831		15,778	2,602
受診者数（人）	2,206	6,941	849	58	2,024	270	524	126	256	123	2,544	234	657	95	819	67	1,458	736	1,689	334	1,014	204	302	17	612	194	956	187	916	6	300	23	710	16	177	11	353	60	15,778	2,602
受診率	4.6	14.3	14.4	1.0	18.1	2.3	15.2	3.6	12.9	6.9	22.2	2.8	19.9	3.2	21.9	1.7	12.0	6.0	21.9	4.7	20.7	4.2	36.2	2.5	15.2	4.8	21.9	4.7	26.3	0.3	20.0	1.5	23.7	0.7	19.2	1.2	16.5	2.7	24.1	3.9
要精検率	6.6	3.4	7.6	27.6	6.6	11.5	5.6	5.7	6.3	3.0	5.2	24.6	5.1	10.7	5.7	6.0	8.6	8.4	7.2	22.6	8.9	5.9	4.3	23.5	5.4	6.3	5.2	12.2	5.3	33.3	5.9	13.0	3.9	25.0	6.4	18.2	4.0	10.4	6.5	5.3
精検受診率	91.1	95.4	95.3	100	96.6	96.8	100	100	81.8	75.0	98.2	93.1	92.9	63.6	86.8	100	95.1	96.9	96.2	100	94.2	94.1	93.3	100	94.7	92.9	93.1	91.7	96.7	100	81.8	100	100	75.0	100	100	87.5	57.1	94.0	91.2
乳がん発見率※	0.413	0.344	0.270	0	0.318	0.228	0.104	0.536	0.480	0.515	0.148	0.337	0.182	0	0.427	0.377	0.396	0.457	0.161	0.431	0.175	0.237	0	0	0.647	0.550	0.241	0.720	0.127	0	0.237	0	0.088	0	0.186	0	0.057	0	0.232	0.570
陽性反応適中度※	4.501	6.712	3.341	0	4.373	1.714	1.500	7.547	6.338	7.547	2.585	1.364	3.429	0	7.234	2.857	4.539	4.178	2.503	2.254	2.314	2.740	0	0	8.494	5.738	4.626	5.319	2.273	0	3.571	0	2.030	0	2.857	0	0.800	0	3.571	10.692

※ 市町は地域保健・健康増進事業報告、検診機関は石川県生活習慣病管理指導協議会における課題検討結果報告による。

※ 対象者数、受診者数、受診率は40～69歳、その他の指標は40歳以上を算定の対象としている。

※ 市町のがん発見率と陽性反応適中度は5年平均で算出。

※ 網掛けは許容値に達していない市町

●「受診率」
乳がん検診の対象者のうち受診された方の割合です。高いことが望ましいとされています。

●「要精検率」：要精検者/全受診者
受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、許容値は11％以下（受診者１００人中、要精検が11人以下）とされています。

●「精検受診率」：精検受診者/要精検者
「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、精度評価の最も重要な指標と位置付けられています。高いことが望ましい値で目標値は９０％以上、許容値は８０％以上とされています。
許容値を下回った珠洲市（個別）、羽咋市（個別）、中能登町（個別）、能登町（個別）には、その理由に関する調査と受診勧奨の徹底をお願いしました。

●「乳がん発見率」：発見乳がん患者/全受診者　※市町はH24～28の5年平均
受診された方のうち乳がんが発見された方の割合で、基本的に高ければ高い方が望ましい指標です。許容値は０．２３％以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、５年間の平均で算出してあります。

●「陽性反応適中度」：発見乳がん患者/要精検者　※市町はH24～28の5年平均
検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に乳がんがあった方の割合で、許容値は２．５％以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、５年間の平均で算出してあります。

※「精検受診率」は許容値を下回ることは良くないとされていますが、それ以外の指標は、人口構成による違いや継続受診者の比率、喫煙者の比率などによっても大きな影響を受けるため、下回れば必ず問題があるとは言えません。
また、「乳がん発見率」「陽性反応適中度」は、小さな自治体では年度による変動が大きいとされています。